

ROSE

文化情報誌
ロゼ

2006 SPRING Vol.55

ROSÉ THEATRE
ART INFORMATION
OF FUJICITY
CULTURE MAGAZINE
ROSÉ



ロゼの片隅

INTERVIEW

千住真理子

特集 粋な大人時間

少年少女芸術劇場 小・中学生招待コンサート

「学校では教えられない音楽の生涯学習」

EVENT CALENDAR 2006

The
舞台裏

「スローカートロンボーン四重奏団&
トロンボーンセミナーin富士2005」

青島広志連載

～作曲家とその妻たち 第1回～

「モーツァルトとコンスタンツェ」

ピックアップアーティスト

Flash Back

INFORMATION FROM ROSÉ THEATRE



体温のある音。

Interview
SENJU MARIKO

千住真理子

●せんじゅ まりこ
(ヴァイオリニスト)

昨年、デビュー30年を迎えた千住真理子さん。

4年前名器ストラディヴァリウス“デュランティ”と出会い、演奏方法や音楽に対する考え方で、またゼロからスタートさせたとのこと。

演奏を終えたばかりのところ楽屋でお話をうかがいました。

千住真理子



ロゼの片隅 katasumi

#9
根多帳 (ネタチョウ)

笑門来福!

ロゼシアターでは、オープン当初より落語公演を毎年開催しています。寄席に行くと同じ噺を聞く事が何回かありました。こういうことは、時々あるようです。このようなことを避けるためにロゼシアター「ふじ寄席」では根多(ネタ)帳を毎回付けています。根多帳とは落語公演で誰が、いつ、何を話したかという記録です。

ふじ寄席にご来場されるお客様の満足度を上げるために、できるだけ同じネタが出ないようにしています。

次回をお楽しみにお待ちしておりますね。

Contents ●

- ロゼの片隅 #9 根多帳 (ネタチョウ) 笑門来福! 1
- INTERVIEW 千住真理子 2
今改めて、新しい千住真理子を知って頂きたいと思います。
- 特集 粋な大人時間 5
少年少女芸術劇場 小・中学生招待コンサート
「学校では教えられない音楽の生涯学習」
- EVENT CALENDAR 2006 (平成18年度公演情報) 7
情報先取り! 2006年も魅力あるイベント満載!
- The 舞台裏 「スローカートロンボーン四重奏団 & トロンボーンセミナー in 富士2005」 9
- 青島広志連載 ~作曲家とその妻たち 第1回~ 11
「モーツァルトとコンスタンツェ」
- ピックアップアーティスト 12
◇川島 裕子 (かわしま ゆうこ)
- Flash Back 13
■ロゼシアター主催事業 2005年12月~2006年2月
- Information from ROSÉ THEATRE 14
●プレゼントクイズ *編集後記*



現実にはちがいますけどね。どんなお仕事でも「仕事」になれば大変ですよ。音楽というイメージからでしょうか。「音楽は楽しいもの」と思われる方もいるかもしれませんが、やはり「仕事」となりますと皆さんと同じで、辛かったり、苦しいなかでがんばっているか、辛く、成し遂げることができないし、それではじめて成功もありえるわけですね。皆さんと同じではないでしょうか。

演奏するときに常に気をつけていることは何でしょうか。
心をふきこんでいくということです。ただ音を並べるのではなく、そこに血をかよわせていくとか、体温のある音を奏するということを大切にしています。それによって聴いてくださる方に伝わると思うし、見えないコミニケーションも生まれると思います。

プロフィールでは2歳半とありますが、ヴァイオリンを始めたきっかけは？
本当は2歳3ヶ月からです。もともと二人の兄がピアノとヴァイオリンを始めていたので自然とわたしもはじめていました。なぜヴァイオリンだったかわかりませんが、当時ピアノなど習うことが、はやっていたのではないのでしょうか。そこにヴァイオリンがあったからでしょうか(笑)

演奏家にとって楽器を使いこなすことは必須条件ですが、どのくらい練習するのですか？
ピアノやヴァイオリンなど、楽器は練習量ですからね。ある時期必ず1日に10時間ぐらい練習して、そんな時期を何年も過ごした人は、楽器が自分の手のようになつてプロになつていくのではないのでしょうか。練習は、演奏会が続くときは楽屋でさつとさうぐらうぐらうですが、家にいるときは朝から晩まで1日中弾いています。1日弾いてないとレパートリーをこなすことはできませんからね。当然のことですが、これでもまだ足りないくらいです…。

特に影響をうけた方は？
ヴァイオリンの先生である江藤俊哉先生です。12歳でデビューしたとき出会いました。デビュー

のステージで共演して、江藤先生の門下に入りました。その年代その年代で多くのかたに影響を受けていますが、ユース番組をこ縮した磯村キヤスターにはいろいろなことを教えていただきましたね。自分と異なるジャンルの方とこ縮すると、今まで考えもしなかったことに気づいたり、異なる分野だけれども結局同じなんだと、お互いに納得し、音楽の分野ならこうだろうという新しい発想が生まれたりして、刺激的でおもしろいですね。

二人のお兄様が画家、作曲家とクリエイティブなお仕事をしていたらいいと思います。お互い刺激し合うものがあるのでは？
いい意味で、切磋琢磨というか刺激しあうという方がいいライバルでありたいですね。お互いが励みになるような存在でいたいですね。

昨年デビュー30年を迎えましたが、ふりかえってみていかがですか。
30年ですからね、いろいろありました。デビュー当時はヴァイオリニストがこんなに大変だとはおもいませんでした。もつと気楽に考えていました。小学校6年生でしたからまだまだ夢を見ていた頃で、友達にはお嫁さんになりたいという子がいて、私もそんなレベルでヴァイオリニストになりたいと思っていました。

デビュー30周年記念アルバム「愛のコンチェルト」にも入っていますが、節目のときには、なぜか「パッパ」がそこにあるそうですね。
そもそもパッパの曲でデビューしましたからね。このアルバムでは一人二役をする多重録音をしました。CDという作品を作るにあたり、CDにしかできないことをしようと考え、第1ヴァイオリンと第2ヴァイオリンを自分で演奏し、表現することで、私がイメージしているパッパが色濃く浮き出すことができると思ったからです。パッパは、必ずリズムがズドンズドンと感じられて、しかも、心の優しいメロディーラインがあつて、弾いている人をも慰めてくれる、そんなところが好きですね。

ストラディヴァリウス「デュランティ」との出会いが変わったことはありますか？
演奏方法をはじめすべて変わりましたね。ボウイング(弓の動かし方)も変わっただけで音楽の構成が変わってきます。テンポ感や音楽をどうやって作っていくかということまで、ドミノが倒れていくように次から次へと変化していきます。ですから楽器が変わってからはすべてリセットして、ゼロからやり直しました。

6月10日の富士市ロゼシアターでのリサイタルを待ち望んでいるファンへメッセージをお願いします。
7年ぶりになるでしょうか、その当時は楽器も違いましたので、全く違う千住真理子がいいたと思います。今改めて新しい千住真理子を感じたいと思います。私がこのストラディヴァリウスと出会ってからの3年間で築いてきた音楽をぜひ聞いていただきたいです。今回、この楽器がよく「歌う」曲を選びましたし、自分自身皆さんにぜひ聞いてもらいたい曲を選びましたので、きつと満足していただけることと思います。

ありがとうございました。
※長兄は日本画家の千住博さん、次兄は作曲家の千住明さん、才能溢れる3兄妹です。

取材／文／川口直美 撮影／飯野浩樹 ヘアメイク／泉正枝



今改めて、新しい千住真理子を聴いて頂きたいと思ひます。



PROFILE

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクール最年少15歳で優勝、レウカディア受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶応義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められて、87年ロンドン、88年ローマデビュー。ピクサーと専属契約を結び、CDは数々のヒット賞を受賞。国内外での活動はもちろん、文化大使派遣演奏会としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。チャリティコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。ステージ音楽の研究、TV、ラジオへの出演の他、執筆活動でも活躍。1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽奨励賞各賞受賞。1997年、全米でもCDを発売。1999年2月、ニューヨーク・カーネギーホール、ウエイ・リサイタルホールにて、ソロリサイタルを開き、大成功を収める。2000年デビュー25周年記念CDを発売。著書「聞いて、ヴァイオリンの詩(時事通信社)」を発売。NHK朝の連続テレビ小説「ほんまもん」の音楽を兄の千住明が担当、千住真理子が演奏し、全国で注目をあびた。2002年の秋、幻の名器ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし話題になる。2003年8月に東芝EMIより移籍第1弾となるCD「カンタービレ(歌うように)」を発売、「レコード芸術」10月号特選盤に選ばれる。2004年4月には移籍第2弾となるCD「愛の夢」を発売した。2005年はデビュー30周年を迎え、記念アルバム「愛のコンチェルト」を発売。2006年2月にはドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団と共演した。

千住真理子 ヴァイオリン・リサイタル ～今、300年の眠りから覚め、名器ストラディヴァリウス“デュランティ”は歌う～

●ピアノ／藤井一典 ●プログラム(予定) □パッパ／グノー：アヴェ・マリア □シューマン：トロイメライ
2006年 6月10日(土) 18:30開場 19:00開演 大ホール チケット料金 4000円(全席指定) 好評発売中

ヴァイオリンの最高峰 ストラディヴァリウス“デュランティ”

ヴァイオリンの最高峰と一目おかれる“ストラディヴァリウス”。イタリアの弦楽器製作者アントニオ・ストラディヴァリ(1644-1737)が作った楽器につけられる。この名がつくヴァイオリンは世界におよそ600本あるらしい。しかし“デュランティ”のようにニックネームを持つものは10本あるかどうかである。当時ローマ法王のクレメント14世に献上されたこの楽器は、その後約200年もの間フランスの貴族デュランティ家の家宝として保管される。その後スイスの富豪のもとで80年、そして2002年に手放されることになった。演奏してくれる人のもとへという条件がつき、まるで赤い糸で結ばれていたかのごとく千住真理子と出会うことになる。



EVENT CALENDAR 2006

11 NOVEMBER

11/4 土曜日 富士市制40周年記念
イングリット・フジコヘミング & モスクワフィルハーモニー交響楽団
 大ホール 開場/17:30 開演/18:00
 ●入場料(全席指定) S席/13,000円 A席/11,000円 B席/9,000円 学生均一/5,000円
 チケット発売日/ロゼ会員 6月18日(日)9:00~
 一般 6月25日(日)9:00~



11/11 土曜日 伊勢正三プロデュース **ロゼ・フォークプラザ2006**
 大ホール 開場/18:00 開演/18:30
 ●入場料 未定
 チケット発売日/ロゼ会員 7月23日(日)9:00~ 一般 7月30日(日)9:00~



12 DECEMBER

12/11 土曜日 市制40周年記念ミュージカル
「Memory」~ロゼシアターのクリスマス☆キャロル~
 中ホール
 ●入場料(全席自由) 均一/1,500円
 チケット発売日/ロゼ会員 一般共通 9月3日(日)9:00~



12/8 金曜日 ディズニー・オン・クラシック
 大ホール 開場/18:00 開演/19:00
 ●入場料(全席指定) S席/8,000円 A席/6,500円
 チケット発売日/調整中



1 JUNE

1/21 日曜日 錦織 健 新春コンサート
 中ホール 近日詳細決定



2 JULY

2/4 日曜日 仲道郁代「音楽の扉」最終回
 中ホール 開場/13:30 開演/14:00
 ●入場料(全席指定) 一般/3,000円 学生/1,500円 親子ペア券/4,000円
 チケット発売日/ロゼ会員 10月15日(日)9:00~ 一般 10月22日(日)9:00~



3 MARCH

新進アーティスト作品展
 Art Generation 2007
 展示室 入場無料



7 JULY

7/13 木曜日 宝塚歌劇雪組公演「ベルサイユのばら」
 大ホール 昼 開演/14:00 夜 開演/18:00
 ●入場料(全席指定) S席/6,500円 A席/5,500円
 チケット発売日/ロゼ会員 一般共通 4月22日(土)10:00~ 電話受付のみ



7/14 金曜日 多賀紙人形展
 和室4F 開場/10:00 閉場/19:00
 入場無料 ※18日臨時休館日



7/19 水曜日 松竹大歌舞伎 中村勲三 郎襲名披露公演
 中ホール 昼の部 開場/13:30 開演/14:00 夜の部 開場/17:00 開演/17:30
 ●入場料(全席指定) 1階席/7,500円 2階席/6,500円 学生均一/3,000円
 チケット発売日/ロゼ会員 4月15日(土)9:00~ 一般 4月16日(日)9:00~



8 AUGUST

8/3 木曜日 ロゼこどもコンサート 協力: 富士クラシック協会
 小ホール 1回目(0才から入場可) 開場/10:30 開演/11:00
 2回目(3才から入場可) 開場/13:30 開演/14:00
 ●入場料(全席自由) 均一/500円
 チケット発売日/6月2日(金)9:00~

8/3 木曜日 女子十二楽坊
 大ホール 開場/18:30 開演/19:00
 ●入場料(全席指定) 前売均一/6,800円 当日/7,300円 一般 5月7日(日)9:00~
 チケット発売日/ロゼ会員 5月6日(土)9:00~



8/26 土曜日 ~青島広志の音と絵のおつきあい~
音楽のある絵 イラスト・アート展
 展示室 開場/10:00 閉場/19:00
 入場無料



9 SEPTEMBER

9/3 日曜日 ~青島広志の音と絵のおつきあい~
絵のある音楽コンサート
 小ホール 開場/14:00 開演/14:30
 ●入場料(全席指定) 一般/3,500円 学生/1,500円
 チケット発売日/ロゼ会員 6月3日(土)9:00~ 一般 6月4日(日)9:00~

9/17 日曜日 ムード歌謡コーラス
 ~魅惑のハーモニー~
 大ホール 昼 開演/14:30 夜 開演/18:30
 ●入場料(全席指定) S席/4,500円 A席/4,000円
 チケット発売日/ロゼ会員 5月27日(土)9:00~ 一般 5月28日(日)9:00~



9/24 日曜日 ミュージカル
「SALOME ~womans generation TOKUKO~」
 中ホール 開場/17:30 開演/18:00
 ●入場料(全席自由) 一般/4,000円 学生/2,000円
 チケット発売日/ロゼ会員 一般共通 5月21日(日)9:00~



10 OCTOBER

10/1 日曜日 古野光昭フルノーツ with 寺井尚子
 中ホール 開場/18:00 開演/18:30
 ●入場料(全席指定) 1階席/5,500円 2階席/4,500円
 チケット発売日/ロゼ会員 6月10日(土)9:00~ 一般 6月11日(日)9:00~



10/24 火曜日 芸術劇場 小学校学校コンサート
10/27 金曜日



4 APRIL

4/8 土曜日 岡本知高
Concerto del Soprano 2005-2006
 大ホール 開場/17:30 開演/18:00
 ●入場料(全席指定) S席/完売 A席/4,500円 学生/2,000円
 好評発売中



4/16 日曜日 鬼太鼓座 万水の彼方へ
LIVE TOUR 2005-2006
 大ホール 開場/15:30 開演/16:00
 ●入場料(全席指定) 一般/4,000円 学生/2,000円
 好評発売中



5 MAY

5/20 土曜日 富士市制40周年記念公開録音「爆笑オンエアバトル」
 中ホール 1回目 開場/14:00 開演/14:30 2回目 開場/18:30 開演/19:00
 ●整理券(抽選)

5/26 金曜日 映画音楽のタベコンサート
 お話: 山本晋也
 大ホール 開場/18:30 開演/19:00
 ●入場料(全席指定) S席/4,000円 A席/3,000円 学生/1,500円
 好評発売中



5/28 日曜日 MAYコンサート2006
 小ホール 開場/13:30 開演/14:00
 ●入場料(全席自由) 均一/1,000円
 チケット発売日/ロゼ会員 一般共通 4月14日(金)



6 JUNE

6/10 土曜日 千住真理子 ヴァイオリン リサイタル
 大ホール 開場/18:30 開演/19:00
 ●入場料(全席指定) 均一/4,000円
 好評発売中



6/24 土曜日 チェコ・フィルハーモニー六重奏団演奏会
 中ホール 開場/18:00 開演/18:30
 ●入場料(全席自由) 均一/3,500円 学生/1,500円
 好評発売中



7 JULY

7/2 日曜日 仲道郁代「音楽の扉」第2回
 中ホール 開場/13:30 開演/14:00
 ●入場料(全席指定) 一般/3,000円 学生/1,500円 親子ペア券/4,000円
 好評発売中



7/5 水曜日 ふじ少年少女芸術劇場 中学生招待コンサート
 演奏: 新日本フィルハーモニー交響楽団
 大ホール

7/7 金曜日 ふじ少年少女芸術劇場 小学生招待コンサート
 演奏: 静岡交響楽団
 大ホール

7/8 土曜日 劇団四季ミュージカル「コーラスライン」
 大ホール 開場/18:00 開演/18:30
 ●入場料(全席指定) S席/9,450円 A席/7,350円 B席/5,250円 C席/3,150円
 チケット発売日/ロゼ会員 4月29日(土)10:00~ 一般 4月30日(日)10:00~



7/9 日曜日 大ホール 開場/12:30 開演/13:00
 ●入場料(全席指定) S席/9,450円 A席/7,350円 B席/5,250円 C席/3,150円
 電話受付のみ

※ロゼシアター主催公演のチケット購入方法については14ページをご覧ください。
 ※表示価格は全て消費税が含まれております。



▲セミナー1日目。皆さん、まだ少し緊張気味。



▲一人一人の音や楽器の状態をみる小野さん。



▲休憩時間も皆さんの質問に丁寧に答える小野さん。



▲最後のアドバイスにも力が入ります。



▲サインは楽器ケースに。

▼楽器を撮影させてくれた皆さん、ありがとうございました。



[バス]

バルブローターが2つあり、管が太いのが特徴です。



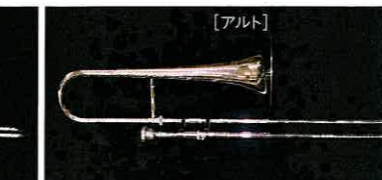
[テナーバス]

"うずまき"があります。

ROSE 10



[テナー]



[アルト]



▲真剣なまなざし...

楽器の入ったやや大きめのケースを手に集まった参加者四十三名。始めてまだ数ヶ月の十二歳の中学生から三十年の経験を持つ四十代の会社員まで、年齢も経験もさまざまである。

セミナーが始まり、彼らの真剣なまなざしが講師に集中する。「各パートの音域を合わせるとおおよそ三オクターブ。これほどの音域がある楽器だからこそハーモニイができる。一人で大きい音を出すのではなく、トールの響き、みんなが積み重なったハーモニイの

良さを味わおう」このセミナーでは基礎テクニックの他に、演奏を通して音楽を作り上げる喜び、演奏者同士の一体感などを体感することも目的としている。お互いを知るために自己紹介をすると、張り詰めた雰囲気もなごやかになった。小野氏は参加者一人一人の音を聞きながら楽器の持ち方、メンテナンスなど丁寧に指導した。休憩になると、講師に質問する人が列をなすほどの熱心ぶりだった。

「スウィット」息を吸うこの音を聞くと、改めて人間の息で音を出していることを実感する。トロンボーンは、口唇→マウスピース→楽器へ、ろうろうとしたあたたかさのある音をつなげていく。体と楽器を一体化させ、楽器を体で操らなければならぬ。体格的に難しい者も必死にがんばっていた。経験年数の浅い者は身につけようという意欲を持ち、余裕のあるものは補い、気遣って共に音楽をつくりあおうとする姿勢が感じられ、二日目のセミナーが終わるころには、互いにコミュニケーションをはかつて見事なハーモニイを奏でることができていた。

公演当日、ステージでのリハーサルでは、スローカーのメンバーと対面し、初共演。演奏について小野氏からの最後の指導、出入りや並び方などを確認しながら、時間だけがあたたかく過ぎていった。そして開演。コンサートの冒頭、彼らがスローカーのメンバーと共に三曲演奏した。達成感に満ちた



▲公演当日のリハーサル風景。

表情で舞台を後にした彼らは、この後すぐに始まるスローカートロンボーン四重奏団の演奏をきくためにあわてて客席へ戻っていた。彼らにとってスローカーメンバーの演奏は、技術、演出すべてにおいてとても参考になるだろう。また、密度の高い二日間のセミナーとトップアーティストとの共演は、セミナー参加者それぞれの、次へのステップにきっとなるに違いない。

(文/川口直美)



▲スローカートロンボーンのパフォーマンスはとても楽しい!



▲小野さんとスローカートロンボーンとの共演。



スローカートロンボーン四重奏団

2005.11.26 SAT

●開演/18:30
●会場/ロゼシアター中ホール

&

トロンボーンセミナー

2005.11.19・20 SAT SUN

●10:00~17:00
●ロゼシアターリハーサル室

The
舞台裏

in 富士2005

富士市出身のトロンボニスト小野隆洋氏を講師に迎え

「トロンボーンセミナーin富士2005」が開催された。

2日間のセミナーの成果は、

スローカートロンボーンのメンバーとの共演

というかたちで披露された。

熱心に講師の話を聞く参加者の表情、

世界のトップアーティストと同じ舞台に立つ緊張感など

彼らの動きを追った。



作曲家とその妻たち

モーツァルトとコンスタンス・タマンツェ

第一回

イラスト・文／青島広志

男女の関係、とくに夫婦の間柄は当人たちにはわからないものです。非常に親密に見ても実は冷えていたり、逆に喧嘩ばかりしていても熱々だったりというの、結婚しておいでなのあなたは、よくご存知でしょう。

音楽史上、最高の「悪妻」として名を残すモーツァルトの奥さんのコンスタンスも、よく調べると、それほどひどい妻ではありません。いや、むしろ可愛い女性だったと言えるでしょう。ただほんの少し自己中心的で、経済観念に疎かっただけでした。

二人が初めて出会ったのは、おそらく一七七八年のことでしょうが、モーツァルトが先に恋したのは、実は姉に当たる歌手のアロイジアでした。母と一緒に出かけたパリ旅行の途中、マンハイムで会

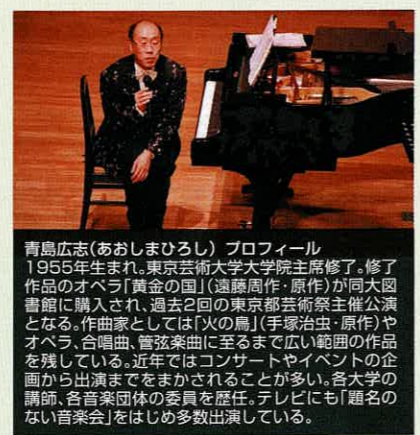
ったウェーバー家の次女です。しかしこの恋は実らず、次第にモーツァルトは妹のコンスタンツェを愛するようになりました。ウィーンに定住することになったウェーバー家に下宿した彼は、オペラ「後宮からの逃走」を一七八二年に初演しますが、この女主人公の名がコンスタンツェなのです。作曲当時は彼女との間に恋は芽ばえていなかったようですが、周囲から噂され、かえって意識したので、父から手紙で尋ねられたモーツァルトは、初め否定していましたが、半年もたつうちに、結婚する意志を固めました。

しかし父と姉は、この結婚に猛反対しました。まず未亡人になっていたウェーバー夫人を奸計にたけた女性だと非難しましたが、これは彼女がモーツァルト

に、三年以内に娘と結婚しないときは、生涯にわたって賠償金を払うという契約書にサインをさせたことがその理由です。そしてコンスタンツェ本人をも、モーツァルトが許した「妻として、母としての役目を十分に果たし、質素で家政を切りもりして行ける」という性格も、彼の役目だと看破しました。そして、確かに父親の見る目のほうが正しかったのです。

肉親の反対を振り切って、二人は一七八二年八月四日、シユテファン教会で結婚式を挙げました。そして九年間、水いらずで暮らすことになりました。コンスタンツェが聞きたいとせがむので書いた「フィガヤ、彼女が治療のために滞在したバーテンで、世話になった教師へ贈った「アヴェウヴェルム・コルプス」などは、二人

の愛の所産です。彼女がもう少し夫の健康に気遣っていたら、モーツァルトの寿命が延びたかもしれないというのは、余計な考え方です。モーツァルトは、妻のために働くことが喜びだったのですから！



青島広志(あおしまひろし) プロフィール 1955年生まれ、東京芸術大学大学院主席修了。修了作品のオペラ「黄金の国」(通称鳥作・原作)が同大図書館に購入され、過去2回の東京都芸術祭主催公演となる。作曲家としては「火の鳥」(手塚治虫・原作)やオペラ、合唱曲、管弦楽曲に至るまで幅広い範囲の作品を残している。近年ではコンサートやイベントの企画から出演までをまかされることが多い。各大学の講師、各音楽団体の委員を歴任。テレビにも「聴かない音楽会」をはじめ多数出演している。

【お知らせ】8月にはコンサートとイラスト・アート展「音と絵のおつきあい」が開催されます。

Pick up artist

川島祐子 (かわしまゆうこ)フルート奏者

「フルートをやっていて良かったと思うのは、音楽を通じて色々な人と出会えたこと。四歳からピアノを始め中学校入学と同時に吹奏楽部に入部、フルートを始めた。フルートを選んだ理由は「その音色が美しさと、見た目の綺麗さかな」と柔らかな笑顔で話す。



ク、コンディション。今の自分に満足する事無く、向上する心を持ち続けている。

Pick up artist

また、県立清水南高等学校芸術科、津西高等学校芸術科の非常勤講師として後継の指導にも力を注いでおり、「教える」ということに喜びを感じています。

六月二十四日にはチェコフィルハーモニー六重奏団との共演で、「モーツァルトの弦楽四重奏曲」を披露する。始めて演奏するというこの曲について、「明るくて、綺麗で、華やかな曲。とても楽しみです。」と意欲満々といった感じだ。

業が通じなくても一つの作品を完成させる事が出来る。音楽を続けてきて本当に良かったなと思います。これからの目標は、「何をやりたいとか大きな目標は特にありませんが、出来る限り長く演奏活動を続けていきたいです。」と、控えめな言葉ながら音楽にかける熱い情熱を感じた。これからの更なる活躍に期待したい。



チェコ・フィルハーモニー六重奏団
ピアノ／アレクサンダー・セメツキー
フルート／川島祐子
●プログラム
J.S.バハ／G線上のアリア、モーツァルト／フルート四重奏曲第1番ニ長調
K.285、ドヴォルザーク／ピアノ五重奏曲イ長調作品81、チャイコフスキー／弦楽六重奏曲ニ短調作品70「フィレンツェの思い出」
※プログラムは変更になる場合がございます。
6月24日(土)
18:00開場 18:30開演
ロゼシアター 中ホール
●入場料 (全席自由)
一般3,500円 学生1,500円
チケット好評発売中!

Pick up artist

●ロゼシアターからのお知らせ

ロゼシアター主催公演のチケット購入方法について

- ロゼ・チケットセンターで直接購入 (9:00~19:00)
ロゼシアター1階のロゼ・チケットセンターへどうぞ。座席表を見て空いているお席の中から好きな席が選べます。
- ロゼ・チケットセンター電話受付で購入 (9:00~19:00)
ロゼ・チケットセンター0545-60-2500にお電話で受付(座席番号の指定はできません)のうえ、以下の方法でチケットをお受け取り。
[1] 直接来店...ロゼ・チケットセンターでチケット代金とお引替ください。
[2] 郵送...チケット代金を郵便振替もしくは銀行振込でご入金(チケット代金+チケット郵送料)いたただき、ロゼ・チケットセンターでご入金確認後次期チケットをご郵送いたします。

郵便振替：郵便振替口座 00840-0-130374
銀行振込：富士信用金庫本店 普通預金口座 0146337 ※いずれもロゼ・チケットセンターまで。

- プレイガイドで直接購入※取り扱えない公演もございます。下記のプレイガイドでご購入ください。
■マルサン書店 沼津仲見世店 TEL 055-963-0350 10:00~20:00
■カワセ書店 富士宮富田店 TEL 0544-24-7160 9:00~24:00
■ユニオンテラス富士宮店サービスカウンター TEL 0544-24-6777 (代) 10:00~21:00

●チケットぴあで購入

電話で予約購入 10:00~23:30
0570-02-9999 (音声認識予約)
スポーツ専用 0570-02-9977
演劇専用 0570-02-9988
クラシック専用 0570-02-9990
問合せ専用 0570-02-9111

各店舗で直接購入

10:00~23:30
※発売初日は12:00~

10:00~23:30
※発売初日は12:00~

10:00~各店営業終了時まで

ロゼシアターがより利用しやすくなりました! 施設の使用方法変更

市民サービスの向上に努めるべく、施設の使用方法が変わりました。

●施設のお申し込み受付時間が1時間延長
これまで午前9時から午後7時までだった受付時間を午後8時まで延長しました。

●会議室、練習室の当日貸し出しが可能に
これまで前日までのお申し込みが必要だった会議室、練習室の当日受付が可能になりました。

●1ヶ月を切ったからのホールの申し込みが可能に
これまでホールの使用については、1ヶ月前までのお申し込みが必要でしたが、打ち合わせやスタッフの人数など、条件が合えば、1ヶ月を切っても対応可能になりました。

●和室を食事会場としてお使いになれます
4階和室を食事会場としてお使いいただくことが可能になりました。ただし食事についてはロゼシアター内「レストランロゼ」にご注文とさせていただきます。

●詳しいお問い合わせは、ロゼシアター(電話0545-60-2510)まで、お気軽にお問い合わせください。



「トライトーンワークショップ」
年が明けて間もない1月9日(月)夜、トライトーンメンバーによるアカペラワークショップを中ホールで開催しました。参加者は五十名、中には長野県や山口県、広島県から参加してくれた方もいらっしゃいました。年齢層も幅広く、下は十六歳の女子高生、上はなんと七十九歳の男性でした。
まず最初に、トライトーンによる二十分間のミニコンサート。参加者たちは、素晴らしい歌声に聴き入っていました。そして、ワークショップの趣旨説明。「上手い、下手は関係なく、ハモる楽しさを知っていただきたい。これが今回のワークショップ開催の目的でした。合唱と違って、楽譜は事前に参加者に渡しておらず、当日、各グループごとにメンバーで話し合っってハーモニーを作っていました。そして、各グループごとに発表。グループずつ舞台上がって、グループメンバーで作った独自のハーモニーを披露していただきました。各席で見ている他のグループからは、感心のある声や笑い声が出ていました。各グループは、演奏が終わるとトライトーンメンバーから講評をいただき、納得したように頷いていました。
全グループの発表が終わると、トライトーンメンバーも含めて全員で「世界に一つだけの花」を合唱。盛り上がりやうらやうらとした雰囲気を終りました。
若い方から年長の方まで、参加者の皆さんが楽しそうに、そして真剣に課題曲のハーモニーを作っている姿を見て、私まで楽しくなりました。
やはり私たちがの仕事は、「皆様の笑顔が最高の報酬」と再確認した今回のワークショップでした。(トキ)



編集後記
「トライトーンワークショップ」
年が明けて間もない1月9日(月)夜、トライトーンメンバーによるアカペラワークショップを中ホールで開催しました。参加者は五十名、中には長野県や山口県、広島県から参加してくれた方もいらっしゃいました。年齢層も幅広く、下は十六歳の女子高生、上はなんと七十九歳の男性でした。
まず最初に、トライトーンによる二十分間のミニコンサート。参加者たちは、素晴らしい歌声に聴き入っていました。そして、ワークショップの趣旨説明。「上手い、下手は関係なく、ハモる楽しさを知っていただきたい。これが今回のワークショップ開催の目的でした。合唱と違って、楽譜は事前に参加者に渡しておらず、当日、各グループごとにメンバーで話し合っってハーモニーを作っていました。そして、各グループごとに発表。グループずつ舞台上がって、グループメンバーで作った独自のハーモニーを披露していただきました。各席で見ている他のグループからは、感心のある声や笑い声が出ていました。各グループは、演奏が終わるとトライトーンメンバーから講評をいただき、納得したように頷いていました。
全グループの発表が終わると、トライトーンメンバーも含めて全員で「世界に一つだけの花」を合唱。盛り上がりやうらやうらとした雰囲気を終りました。
若い方から年長の方まで、参加者の皆さんが楽しそうに、そして真剣に課題曲のハーモニーを作っている姿を見て、私まで楽しくなりました。
やはり私たちがの仕事は、「皆様の笑顔が最高の報酬」と再確認した今回のワークショップでした。(トキ)



プレゼントクイズ

5月26日(金)大ホールの「映画音楽のタベコンサート」に出演(お話し)されるあの有名な映画監督の名前は? 漢字で答えてね!! (〇〇〇〇監督!)

プレゼント 1 「映画音楽のタベ」2006年5月26日(金) 開演19:00 チケット 2組4名様
プレゼント 2 レストラン「ロゼ」御招待券 2組4名様

応募方法/官製はがきに、住所、氏名、年齢、職業、クイズの答え、希望するプレゼント名(どちらか1つ)、本誌に対するご意見・ご感想をお書きのうえ、下記宛て先に郵送を。(平成18年4月末日消印有効)
なお、当選者は賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

宛て先 〒416-0953 富士市藤原町1750番地 ロゼシアター「情報誌ロゼ第55号プレゼント」係

●平成18年4月より定期休館日がなくなります! ●臨時休館日のお知らせ ●4月/無休 ●5月15日(月) ●6月/無休

ロゼシアターホームページで情報!! <http://rose-theatre.jp> ◆公演情報 ◆施設の空き状況 ◆交通情報 ◆メールマガジン配信など



Flash Back

ロゼシアター主催事業 (12月~2月まで) フラッシュバック 2005-2006

12月9日(金) アジアの風シリーズ8 インド楽器 シタール&舞踊

インド民族楽器の実演は初めてでしたが世界各地には楽しい民族音楽がいっぱいあることを実感しました。ワークショップで楽器に触られたことも幸いでした。

12月18日(日) サウンド・オブ・ジョイ & ロゼ・ゴスペルクワイア クリスマスライブ

人間の楽器(声)としてのすばらしさに感動しました。SOJのコンサートは初めてですが、また機会があれば、ぜひ来たいです。ロゼゴスペルクワイアの皆さんの楽しそうな姿、とっても羨ましかったです。本当に素敵なコンサートをありがとうございました。

1月13日(金) Mr.ブルーアイランド風 おんがくの楽しみ方 その1 楽器を使って

青島先生のおしゃべりは、大変楽しくストレスも吹き飛ばしてしまいます。クラシックも身近に感じられ、テレビ出演の時と同じくらい面白かったです。また、ロゼシアターに来てください!

1月22日(日) 小原 孝&トライトーン ミュージック・カフェ

人間の声って凄い! 良い音楽を聴いてゆったりした気分になりました。明日から、がんばろうと思います。

1月24日(火) ニュー・イヤール・ガラ・コンサート 第15回ショパン国際ピアノコンクール

レベルの高い音楽にふれることができ心が豊かになりました。また、このように企画して下さる方々、ありがとうございます。スライドも良かったです。新しい試みをされたことに感謝します。

2月4日(土) 仲道郁代の音楽の扉 第1回 「芸術の都パリ~フランス編」

仲道郁代さんのトークが曲間に入るの興味をもつことができました。作曲者人生、時代背景等のスライドも良かったです。新しい試みをされたことに感謝します。

2月5日(日) 仲道郁代の光のこどもたち

音楽と映像とおしゃべりが一体化してとても楽しいコンサートでした。ゆったりと贅沢な時間を過ごせ大満足です!

2月14日(火) バレンタインコンサート

またこんな企画をやって欲しいです。気軽にクラシックが楽しめるのが良かったです。とても楽しい構成で内容も十分楽しめました。

2月18日(土) 文楽の楽しみ方 入門 第1回

人形の動かし方や表情、しぐさ、いろいろ拝見参考になりました。ホールですと遠くで観ることが多いので、今回は近くで見ることができました。本番が楽しみです。

2月25日(土) 文楽の楽しみ方 入門 第2回

三味線や義太夫について大変参考になりました。音の強弱、間の取り方など本公演にいくので、ちゃんと聞いてみたいと思いました。ワークショップは色々なジャンルをやりたいです。